

2019年12月

タカシマヤは世界と手をつなぐ。

# 大阪万博カレイドスコープ

## ーアストロラマを覗くー

- ・会 期:2020年1月15日(水)~4月19日(日)
- ・会 場:高島屋史料館 TOKYO 4階展示室  
(日本橋高島屋 S.C.本館 4階・5階 ※5階旧貴賓室は、セミナー開催時のみ開館)
- ・主 催:高島屋史料館 TOKYO
- ・監 修:橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授/大阪府立大学観光産業戦略研究所長)
- ・入館料:無料

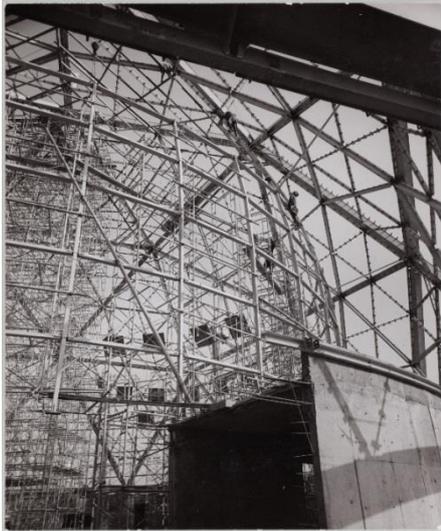


「みどり館」(株式会社大林組所蔵)

1970年の大阪万博を紹介する本展では、高島屋がみどり会として共同出展したパビリオン「みどり館」に焦点を当てます。「みどり館」のエントランスホールでは、吉原治良監修による具体美術展を開催。館内には全天周映画の鑑賞体験ができる「アストロラマ」(アストロ「天体」とドラマ「劇」を合わせた造語)がありました。放映された映画は、当時珍しかった海外取材や水中撮影なども豊富に取り入れられ、脚本を谷川俊太郎、音楽を黛敏郎、そこに舞踏家土方巽が登場するという、非常に前衛的なものでした。このたびは、パビリオン「みどり館」のメイキング映像とともに、放映された映画「誕生」の一部再現映像を展示いたします。

**【関連イベント】※会場は全て高島屋史料館 TOKYO 5階旧貴賓室**

※予約は右記 HP から受け付けています。<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo>



みどり館建設工事(株式会社大林組所蔵)



みどり館俯瞰、1970年(株式会社大林組所蔵)

① [タイトル]1970年大阪万博から2025年大阪・関西万博へ

橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授／大阪府立大学観光産業戦略研究所長、本展監修者)

[日時]2020年2月9日(日)15:00～16:30

[定員]30名/先着順(事前予約/HPにて予約受付)

[参加費]1,000円(税込)

② [タイトル]「アストロラマ」と舞踏家 土方巽(仮称)

森下隆、本間友(慶應義塾大学アート・センター所員)、奥野達郎(元五藤光学研究所、「アストロラマ」担当)

聞き手:橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授／大阪府立大学観光産業戦略研究所長、本展監修者)

[日時]2020年2月16日(日)15:00～17:00

[定員]30名/先着順(事前予約/HPにて予約受付)

[参加費]1,000円(税込)



「誕生」上映フィルム部分

(映像『Project Rebirth 幻の万博映画「誕生」-アストロラマで踊る土方巽へ』2011,慶應義塾大学アート・センター制作より)

- ③ [タイトル]万博記録映像上映会&トーク  
橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授／  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長、本展監修者)

[上映内容]

- a. 大林組と万国博
- b. U. S. PAVILION・EXPO' 70「アメリカ館の建築の記録」
- c. 大林社長訪米記
- d. 万国博お祭り広場建設の記録
- e. アストロラマを創る

[日時]2020年2月22日(土)15:00～17:30

[定員]30名/先着順(事前予約/HPにて予約受付)

[参加費]1,000円(税込)



記録映像「アストロラマを創る」より土方巽硫黄山  
での撮影風景

- ④ [タイトル]元みどり館コンパニオン座談会

元みどり館コンパニオン(数名を予定)

聞き手:橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授／大阪府立大学観光産業戦略研究所長、本展監修者)

[日時]2020年3月15日(日)16:00～17:30

[定員]30名/先着順(事前予約/HPにて予約受付)

[参加費]1,000円(税込)

- ⑤ [タイトル]メディア・美術と万博ー1970年から2025年までー(仮称)

齋藤精一(ライゾマティックス代表取締役)

聞き手:橋爪紳也(大阪府立大学研究推進機構特別教授／大阪府立大学観光産業戦略研究所長、本展監修者)

[日時]2020年3月29日(日)15:00～17:30

[定員]30名/先着順(事前予約/HPにて予約受付)

[参加費]1,000円(税込)

**【お問い合わせ】日本橋高島屋 S.C.本館 TEL 03-3211-4111(代表)**